■大人の読書会紹介本

問広川町立図書館　☎0943-32-1163

6月25日㈭に、町民交流センター「いこっと」で大人の読書会が行われました。今回のテーマは「この言葉が心に刺さった本」。参加者6人が、それぞれ選んだ本について語り合いました。皆さんのおすすめ本を紹介します。



『星の王子さま』　推薦者　國武のぶ子さん

サン＝テグジュペリ / 著
角川書店





シンプルですが、奥深い作品で、大人になった今だからこそ理解が深まっていきます。「一番大切なことは目に見えない」という物語の言葉は心に刺さるというよりも響くと言ったほうがいいかもしれません。

『十角館の殺人』　推薦者　谷口由里さん

綾辻行人 / 著
講談社





1987年に刊行された綾辻行人のデビュー作。犯人が誰かわかる瞬間にはページをめくる手が止まるほどの衝撃を受けました。刺さった言葉はミステリー史上一番驚いた1行でした。推理作家による長編推理小説です。

『石垣りん詩集』　推薦者　末広和俊さん

石垣りん / 著
岩波書店





石垣りんは銀行員として長年働き、独身のまま家族を支え続けた詩人で、彼女の生活スタイルがその詩には強く表れています。貧困や戦争を主題としたつらい詩が多いのですが、わかりやすくて味があり、著者の詩の言葉すべてが刺さり、刺さるのが怖いと感じた1冊です。

『楽園のカンヴァス』　推薦者　貞苅えり子さん

原田マハ / 著
新潮社





アンリ・ルソーの絵画「夢」をテーマにした作品。ルソーの絵が本物か偽物かを目利きする2人の鑑定士が主軸として描かれています。表紙絵のルソーの絵画の描写が素晴らしく、ルソーとこの絵画にひかれました。この絵画の本物を見てみたいと思わせてくれたミステリー小説です。

『檸檬（桜の樹の下には）』　推薦者　矢野勝久さん

梶井基次郎 / 著
角川書店





「桜の樹の下には」は著者の短編集『檸檬』の中に収録された小説で、「桜の樹の下には死体が埋まっている」という衝撃的な一文が刺さりました。短編すべての言葉が、具体的な情景や映像を思い起こさせてくれる1冊です。

『八月の銀の雪』　推薦者　馬場智子さん

伊与原新 / 著
新潮社





2021年の本屋大賞と第164回直木賞の候補作で、5編の短編集です。作中の描写はリアリティがあり、物語にだんだんと引き込まれていきました。「耳をすまそう」という言葉が刺さった作品です。

■ 11 月の休館日

● 2 日㈰・5 日㈬・9 日㈰・16 日㈰・24 日㈫・30 日㈰
●毎週㈰・第 1 ㈬が休館、㈰が祝日の場合は翌日以降の直近の平日が休館

■インターネット予約が便利です

本や CD・DVD など、ホームページから予約できます（1 人 10 冊まで）。

■ひろかわ電子図書館もご利用ください



電子図書館
QR コード

インターネットに接続できる環境とスマートフォンやタブレット端末などがあれば、いつでもどこでも読書を楽しむことができます。
※利用者ID：広川町立図書館利用カードの番号　パスワード：初期設定は生年月日（西暦）
※ご不明な点は広川町立図書館へお問い合わせください。

■ 11 月のおはなし会［場所・読み手］

● 7 日㈮ 10:30 ～ 11:00 児童向け
［お話しの森・きらら］
● 11 日㈫ 10:30 ～ 11:00 乳幼児向け「かっちんこ」
［ハグハグ・絵本コンシェルジュ］
● 15 日㈰ 11:00 ～ 11:30 児童向け
［お話しの森・たまてばこ］

■中高生（ティーンズ）の読書会

8 月 11 日㈫㈷に、町民交流センター「いこっと」で中高生（ティーンズ）の読書会が行われ、3 人の参加者と図書館司書がそれぞれ好きな本について語り合いました。今回は参加者のおすすめ本を紹介します。



『ジェームズ・クリアー式 複利で伸びる 1 つの習慣』

紹介者　神瀬

ジェームズ・クリアー / 著
パンローリング



きっかけ・欲求・反応・報酬という 4 つのステップから生まれる行動変化の法則をもとに、良い習慣を身につけるための最善の方法を紹介しています。
毎日の小さな改善が複利のように積み重なり、1 年後には約 37 倍の大きな成果を生むと説くベストセラー書籍の 1 冊です。

『王様のプロポーズ』

紹介者　あっくん

橘公司 / 著
KADOKAWA



300 時間に 1 度、滅亡の危機を迎える世界を救い続けた魔女にして、魔術師が通う学園の長・久遠崎彩禍は、玖河無色に体と力を引き継ぎ、死んでしまいます。無色は初恋の少女・彩禍として誰にもバレないよう学園に通うのですが……。橘公司（著）とつなこ（イラスト）の「デート・ア・ライブ」コンビが贈るライトノベル作品です。

『I（アイ）』

紹介者　あずにゃん

道尾秀介 / 著
集英社



元刑事のホームレス・野宮と出会った田釜（ゲスミオン）。一家殺害事件の生き残りで、硝子職人と暮らす高校生の夕歌（ペトリコール）。本作は 2 つの章から成る物語で、どちらの順番で読むかで、人の生死を分ける結末が変わります。ハラハラドキドキの 1 冊です。